

美しい山・川・海  
人が躍動する 交流と共生のまち

ふるさと

香美

## 今月号の主な内容

年頭のごあいさつ	……P. 2 ~ 3
行財政改革中間報告	……P. 4 ~ 6
医療体制検討委員会報告	……P. 7
若者まちづくり懇話会提言	……P. 8
行政トピックス	……P. 9 ~ 11
Town News	……P.12 ~ 13
けいじばん	……P.14 ~ 15
香美名所巡り	……P.16



【写真】香住海岸から昇る朝日

1

香美町広報  
平成18年1月号  
(第10号)

# 新年あけましておめでとうございいます



新年あけましておめでとうございいます。

皆様お揃いで平成18年の輝かしい新春をお迎えになられましたこと、心からお喜び申し上げます。

昨年4月に3町合併でスタートした「香美町」も、記念すべき初めての新春を迎えました。

おかげさまで、合併直後から町民の皆様の深いご理解とご支援により、いま新しいまちづくりが一歩ずつ進んでおりますことは、この上ない喜びとするところで。

既に多くの団体が香美町としての一本化を図っていただき、積極的な交流を進めていただいておりますし、秋には町民参加の「矢田川桜つつみ街道事業」も盛大に取り組んでいただきました。それぞれの立場で積極的に取り組んでいただいております町民の皆様に、心からの感謝を申し上げます。

さて、この冬は記録的な大雪に見舞われ、町民の皆様の日常生活はもとより、漁業、観光な

ど産業面にも大きな影響を受けております。しかし、反面、町内4つのスキー場は安定的な積雪のもと、多くのスキーヤーを受け入れて新年を迎えることができました。

海の方も長らく時化<sup>しげ</sup>が続き、カニ漁もままならぬ状況が続きましたが、年末にきてようやく天候も落ち着いて感があります。これから一気に挽回を図りたいものです。

いよいよ平成18年は、香美町にとって本格的にまちづくりを進める年です。

山のまち村岡区、小代区と海のまち香住区。山陰海岸国立公園や氷ノ山・後山・那岐山国定公園などの豊かな自然と、松葉ガニ、但馬牛などのすばらしい特産物を有する香美町、こうした山と海との特色ある資源を生かして、交流と共生の新しいまちづくりを町民あげて取り組んでいかなければなりません。

町長就任直後から検討をお願いしております「行財政改革検討委員会」「医療体制検討委員会」ならびに「若者まちづくり懇話会」からも、年末に平成18年

度に向けての取り組みを中心に中間報告をいただきました。

厳しい財政状況の中ではありますがこれらの提言を踏まえて、財政の健全化を図りながら新しいまちづくりを進めていきたいと考えております。

まちづくりの方向につきましては、既にいろいろな機会に述べておりますが、まず第1に何といても地域の活力を高めていくこと、活性化を図ることです。そのためには、観光業の振興を中心に、これと水産業、農業など他の産業との連携を図った産業振興対策を強化していくことです。

幸い、合併して香美町は、水産物、農産物、それに但馬牛と優れた特産物をもっています。これらを観光と有機的に結びつけ、一体的な産業振興策を確立していきたいと考えております。

第2は進行する少子化・高齢化への対応です。

香美町の出生数は年々減少を続けており、10年前に比べると約70人少なくなっております。このまま推移するならば、小学校

# 戌 今年は戌年



イ 又といえ、**「知恵」「勇氣」「誠実」**の代名詞のような動物。昔話の『桃太郎』や『花咲爺』に登場するのも、そういう犬たちです。主人が亡くなった後も毎日駅前で待ち続けた**「忠犬ハチ公」**のお話は有名です。

このように、犬は昔から、人間の大切なパートナーであったわけですが、今でも、狩猟犬や牧羊犬、盲導犬や警察犬、そして、災害が多い近年では、災害救助犬として、被災地などで活躍する場面を目にすることが多くなりました。

ところで、妊産婦の帯祝い**「戌の日」**が選ばれるように、犬は安産、多産の象徴とされています。では、戌年に生まれた人はどのくらいかという、平成17年1月1日現在の総務省による推計人口では、戌年生まれば983万人で、総人口の7.7%を占めています。これは、十二支のなかで11番目、酉年(943万人)に次ぐ少なさです。ちなみにいちばん多いのは、丑年の1,117万人です。

いろはガルトの一枚目は、ご存じ、**「犬も歩けば棒に当たる」**。辞書によると、「何か物事をしようとする者は、それだけに何かと災難に遭うことも多い」、あるいは、「たとえ才能や運がなくても、何かやっているうちには、思いもよらぬ幸運に会うこともある」という意味とも書かれています。

どちらの解釈をとるにしても、今年も慎重な心配りのもとに、積極的な努力を惜しまず、開運間違いなし！といきたいものです。



## 年頭のごあいさつ

の複式学級化がさらに進行することになります。

若い人たちが定着しやすい環境づくり、子どもを生み育てやすい環境づくりに、難しい課題ですが、一つずつ取り組んでいきたいと考えております。

また高齢化率は、合併により香美町全体で29%と高い率になりました。高齢者が多いことが問題ではなく青壮年層が少ないことが問題ですので、その対策に取り組むとともに、高齢者の皆さんには元気で長生きしていただく、とりわけ前期高齢者(74歳まで)の方々には地域のためにより一層働いていただくよう、その仕組みづくりに努めていきたいと考えております。

第3は、行政と町民が一体となった香美町づくりを推進して

いくことです。

これからのまちづくりは、ひとり行政のみで対応してもその効果は十分ではありません。町民の皆さんと目標を一つにし、お互いが分担しながらまちづくりを進めていくことが必要です。そのため、昨秋に各区ごとに目標を決めていただいた「香り高く美しいまちづくり運動」を中心に、新しい香美町づくりに取り組んでいきたいと考えております。

以上のような考えのもと、町民の皆さんとともに香美町づくりを推進していきたくと考えておりますが、一方、香美町の財政状況は、長引く景気の低迷や国の三位一体の改革、さらには医療関係費の増加などにより、大変厳しい状況に直面しており、

早急な対応に迫られております。

そのため、行財政改革検討委員会などの提言を踏まえ、事務・事業の選択、補助金などの見直しをはじめ、病院・診療所など医療体制のあり方も含め町政全般にわたる抜本的な財政健全化対策を講じながら、新しいまちづくりに努めていくことにしております。

町民の皆さんには、新生「香美町」の大きな発展のため、格別のご理解とご尽力を賜りますようお願いいたします。

終わりになりましたが、平成18年が皆様にとりましてすばらしい年となりますよう、心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

香美町長 藤原久嗣

スリムで活力ある地域づくりへ 町行財政改革・中間報告書を提出し、合併効果を最大限に発揮し18年度財政健全化元年に

昨年7月28日に町長から諮問を受けた香美町行財政改革検討委員会(柴崎一秀会長)は、12月7日、香美町の行財政改革について町長に中間報告書を提出しました。

柴崎会長は、「今の香美町に求められていることは、持続的な発展を図るためのスリムで活力ある地域社会づくり。新たな自治を確立するためには、それぞれの役割の分担と協働のシステムを築くこと。今、命運をかけた改革を断行しなければならぬ。行政、住民、民間が力を合わせて、一斉に取り組まなければならない」と決意を述べました。

町としては、中間報告の内容を尊重し、香美町の財政健全化の第一歩として平成18年度予算に可能な限り盛り込み、山のまちと海のまちとの特色を活かしたまちづくりを町民とともに進めていきたいと考えています。



藤原町長へ中間報告書を手渡す柴崎一秀会長(中央)、中村治泰副会長(右)

【中間報告の要旨】

- 収支不均衡の是正による財政再建団体(※1)の回避
- 財政調整基金などの堅持と積み増し
- 補助金などのゼロベースからの積み上げ、人件費削減など歳出抑制
- 民間の能力を活かす行政システムの構築
- 健康福祉社会づくりの強化と地域資源を活かした産業の振興

ポイント1  
収支不均衡による基金取り崩しが続く危機的な財政状況の周知と危機意識の共有

財政環境は年々厳しさを増し、今まさに試練の時を迎えています。財政の収支不均衡を早期に脱するため、行政と住民の痛みを伴うさまざまな改革の断行が必要です。合併による総合力がこの危機を乗り越える突破口となるよう町民一丸となって歩まなければならない。

行政の守備範囲はこれまでほかの自治体と競うように肥大化してきましたが、行政と住民の協力強化と役割分担を進めるとともに、事務・事業の必要度、緊急度などを判断しながら、組織と業務のスリム化に取り組みなければなりません。

ち密な地域経営感覚をもって、斬新かつスピーディに財政健全化を成し遂げ、住民に最も必要な施策や町が直面する課題解決へ財源が確実に投じられる緊急的かつ創造的的改革を断行しなければなりません。

① 地方交付税、町税などの収入の大幅な減少

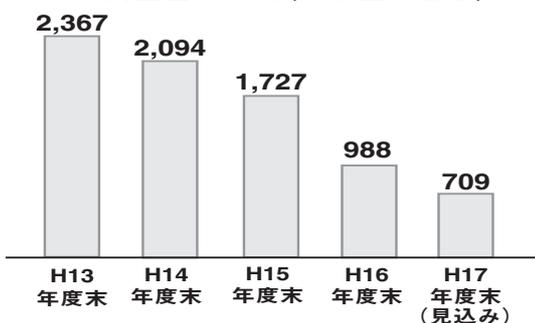
地方交付税(※2)は本町の歳入の39%を占めています。12年度に73億円あったものが、16年度に63億円となり合併前4年間で10億円の減少となっています。

この財源不足対策として、国が赤字地方債ともいわれる臨時財政対策債を特例措置しています。

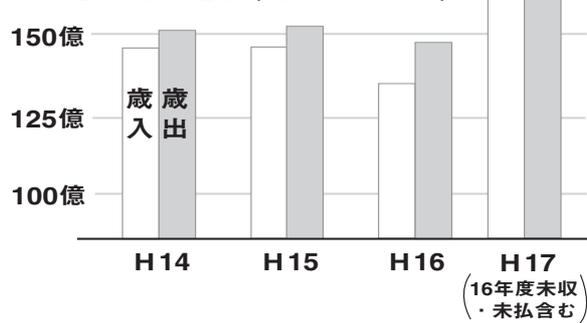
合併初年度の地方交付税は合併のため特別措置などにより、16年度と同水準の63億円を見込んでいますが、17年の国勢調査人口の減少により、来年度から1億5千万円程度の減額が見込まれています。

また、歳入の11%を占める町税は、旧3町合計では、13年度まで20億円台を維持していましたが、14年度から19億円に、合併初年度の17年度は17億円の見込みで、近年、減少が顕著となっています。

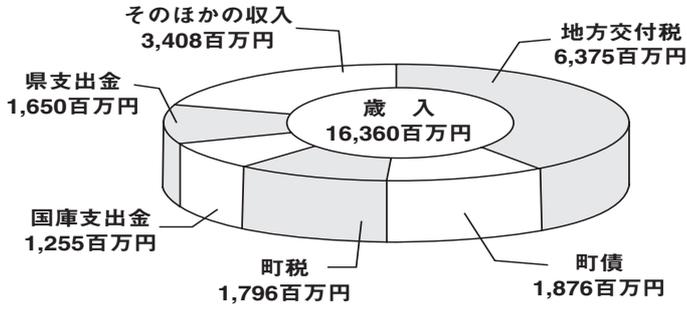
財政調整基金残高(減債基金含む)



歳入と歳出の推移(総予算ベース)

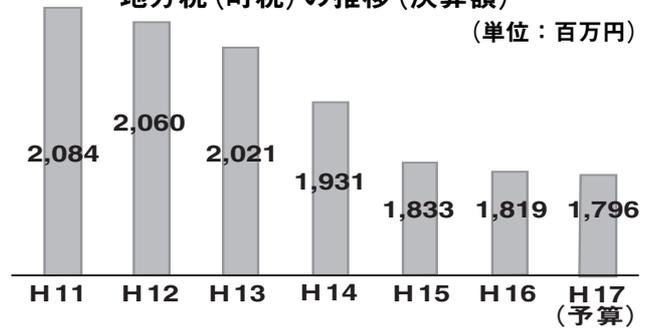


平成17年度予算の歳入の内訳 (16年度未収金含む)



地方税 (町税) の推移 (決算額)

(単位: 百万円)



歳入をすべて「入を重くして出を制す」として、財政運営へ抜本的な改革がなされなければなりません。

近年の地方交付税の削減などにより、歳入が歳出を大幅に下回り、収支不足額を町の財政調整基金(※4)などを取り崩して運用してきましたが、その基金残高は合併以前、旧町合計で平成15年度末に約17億円あったものが、16年度末に約10億円となり、合併初年度には、歳出の大幅な削減が行なわれたものの、基金取り崩しが約3億円予算計上され、17年度末には約7億円にまで減少する見込みです。

① 歳入に見合った歳出への抜本的な財政改革

② 介護保険事業、老人保健事業などへの町繰出金の増加  
歳出は、高齢化などに伴う町負担の増加が続いています。平成12年度に介護保険制度が創設され、17年度には町の繰出金が約3億円となり、さらに、老人保健事業の町負担額も段階的に増え、約2億円の繰出金(※3)が見込まれています。

ポイント2  
長期的な財政調整基金を図る基金現在高7億円の堅持と計画的な積み増し

② 建設事業の抑制による公債費の削減  
これまでの建設事業の財源として借り入れた起債(※5)残高は、17年度末には一般会計で234億円、特別会計等で255億円に及び、一人当りの起債残高が213万円(実質的な町の負担は地方交付税措置により40%程度)となっています。起債の元利償還金が17年度一般会計予算で、約30億円に達し、歳出の5分の1を占めており、これが経常収支比率(※6)を96%まで上げる要因の一つとなり、新規施策の展開などへの財政の弾力の運営ができにくくなっています。

② 建設事業の抑制による公債費の削減

本町は、人口2万人で町立病院1、組合立病院1と5つの直営診療所を有し、その経営に対する町の財政負担は過重となっています。これらに係る特別会計などへの繰出金は、18年度に約1億5千万円増加し、歳入の地方交付税が約1億5千万円減ることから、収支の不均衡が拡大します。

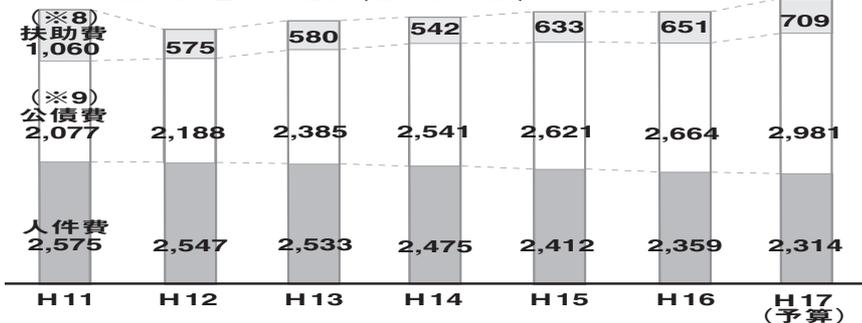
③ 財政調整基金などの計画的造成  
平成18年度予算編成にあたっては、財政調整基金の取崩しが行なわれないよう歳出削減へ取り組み、今後、計画的な積み増しが必要です。

② 組織体制の見直しと人件費抑制策の推進  
効率的な組織体制を整備し、職員数の計画的削減を図らなければなりません。給与などについては、人事院から給与構造の改革、能力・実績に基づく人事評価システムの整備などへの取り組みが勧告されていますが、これらを十分勘案することも、本町の財政状況、民間企業の厳しい情勢などを踏まえて、

③ 財政調整基金などの計画的造成

① 補助金などは、すべてゼロベースから総点検  
補助金は、真に必要なもののみをゼロベースから積み上げ、対象者や団体の自立を促進しなければなりません。申請者から、原則として町の補助金などと同額以上の自主財源(※7)を有する収支計画、事業計画とその実績報告を義務づける他、補助制度の運用、点検方法を見直し、必要なもののみをゼロから積み上げる総点検が必要です。

義務的経費の推移 (各年決算額)



早急に改革を進め、職員の給与の相当な削減を行わなければなりません。

ポイント4  
行政と住民の役割分担と民間の能力を活かす行政システムの構築

①収益性の高い産業振興関連施設の民間委託推進

産業振興関連施設についての管理運営は、従来から地元団体や第三セクターなどへの委託を進めており、積極的に民間の経営能力を発揮し、独立採算性を確立することが必要です。

既委託施設は、平成18年9月までに指定管理者制度(※10)へ移行することとなります。町が赤字補てんしているものは、施設の運営改善に向けた取り組みを強化しなければなりません。

②事務・事業の民間委託推進

行政の事務・事業のなかで、民間での事業化がなされ、その

の経営手法を活かして効率化が図れる分野については、民間委託を推進するべきです。

これまでの民間委託の成果などの分析を行い、民間委託の推進方針などについて行政としての基本的な考えをもった取り組みが必要であり、施設に関わる業務については、単体施設だけでなく、各施設間における総合的な人事体制によって、民間委託への円滑な移行を図る必要があります。

③町有施設の再編・統合

町有施設の効果的、効率的運営を図ることが必要であり、利用者数などから適正規模への再編、統合は、利用範囲の

策などを十分に考慮しながら住民の理解、協力を得て、その取り組みを進めなければなりません。

④職員の能力開発と意識改革

今後、行政における職員の能力開発、自己研さんへの取り組みを強化するとともに、行政の総合力を高めるため、部制の効果をもつ発揮し、組織内の連携強化により施策の横断的展開を推進する必要があります。

住民と行政が一体となった参画と協働のまちづくり、男女共同参画社会形成において、職員は目標を共有し、そのリーダーの一員としての自覚と責任をもって積極的な実践を行わなければなりません。

ポイント5  
合併効果を最大限に発揮した総合力、創造力のあるまちづくりの推進

少子高齢化、低経済成長社会への迅速かつ効果的な対応が求められています。地方分権の確立と新たなまちづくりに向けた行政と住民、民間の機能分担、負担のあり方などを見直し、行政システムや施策の改革に取り組みなければなりません。

本町の人口構造は、65歳以上の高齢化率は平成17年度に29%に達し、20歳から64歳までの勤労者世代1・8人で65歳以上の1人を支える状況で、国の20年先の数値となっています。

74歳までの前期高齢者の能力の積極的活用を図り、後期高齢者の健康増進や介護予防へつながらる施策の展開が必要

です。

近年の出生者数は大幅に減少しており、総人口の減少が加速しつつあります。若年層を中心とする人口減少を食い止めるため、産業の振興を図り、就労の場づくり、住宅対策、結婚対策などに重点的に取り組み、地域再生産力を高めなければなりません。子育て支援や青少年の地域文化活動などへの参加促進において地域ぐるみの協力的体制づくりが必要です。

ブランド力のある海と山の地域資源や観光交流施設を活かした産業振興、産産間連携を強化し、生産所得の増大を図らなければなりません。

【用語の解説】

※1 財政再建団体

財政赤字を解消するため財政の再建を行う地方公共団体をいう。財政再建団体になると、地方債の発行が制限され、多くの建設事業が事実上実施できなくなる。

町独自で実施してきた施策の中止・延期、使用料・手数料の値上げ、地方債の制限による道路、下水道整備といった都市基盤整備などの中止・延期など、ほかの行政サービスの提供も著しく制約される。

※2 地方交付税

地方公共団体が等しく行政サービスを維持するための国の交付金。

※3 繰出金

一般会計と特別会計、特別会計相互間で、予算の相互充用のために支出される経費。

※4 財政調整基金

地方公共団体が年度間の財政の不均衡を調整するために積み立てられた積立金のこと。

※5 起債

建設事業などの財源とする借入金。

※6 経常収支比率

地方公共団体の経常的経費(人件費、物件費、公債費など)のために経常一般財源(町税、地方交付税など)がどれだけ充用されたかを示す比率。

町では70%程度が望ましいとされ、100%に近づくほど、弾力的な行政運営が困難になる。

※7 自主財源

地方公共団体などが自ら徴収、収納できる財源のこと。自主財源には、地方税、使用料、手数料、寄付金、財産収入などがある。

※8 扶助費

社会保障制度の一環として、地域医療や生活困窮者、身体障害者などに対してその生活を維持するために支出される経費。

※9 公債費

地方公共団体が借入れた地方債の毎年度必要とする元利償還金。

※10 指定管理者制度

公の施設の管理を民間などに指定することにより、民間の能力を活用し、住民サービスの向上を図りつつ、経費の削減などを図る制度。

# 香美町の今後の医療のあり方を考える

## 香美町医療体制検討委員会が中間報告書を提出

昨年8月から検討を重ねてきました「香美町医療体制検討委員会(駒居博之会長)」は町内の病院・診療所の体制について、12月22日、中間報告をとりまとめ、藤原町長へ報告書を提出しました。

委員会では3月末までに最終報告をとりまとめるとの予定にしています。今回の中間報告の内容についてお知らせします。

### 【道路整備による近隣病院との連携】

香美町には公的医療機関として2つの病院と5つの診療所がありますが、村岡・小代区では蘇武トンネルの開通、香住区でも本年地域高規格道路「香住道路」の開通により豊岡への交通時間が短縮されたため、但馬の中核病院である公立八鹿病院、三次医療拠点

病院の公立豊岡病院への交通アクセスも改善されています。

### 【病院・診療所経営の悪化】

公立香住総合病院や公立村岡病院では、昨年度から始まった新医師臨床研修制度の影響により、派遣先大学などへの医師の引揚げで、医師確保に困難を来しています。また、診療報酬の切り下げや患者一部負担の引き上げによる患者数の減少で、病院・診療所とも経営状況は年を追って厳しさを増し、年々一般会計からの繰出しが増えています。

税収は減少し、地方交付税も削減され、町民医療を守るための財政支援も限界になっていて、厳しい財政事情の中で2公立病院と5診療所をこのまま維持していくことは極めて難しい状況です。

平成14年度を境に病院、診療所とも患者が減少し赤字が増加している現状から、経営

健全化に向けた医療体制の構築を主眼に、町民として容認できる医療体制の在り方を中心に議論し意見をとりまとめました。

### 【新しい医療モデルの創造を】

現時点で健全経営をしている村岡病院については、現状のままの診療体制を継続するというまとめにしましたが、中長期的には病気にならないための保健活動や予防医療、そして介護体制を一体として考える中で、2病院の機能分担や病院のあり方が今後の検討課題となります。

町民が健康で、子どもから高齢者まで安心して暮らせる町づくりのためには、病院を中心として保健・福祉、医療、介護が一体となった地域医療の香美町モデルを作らなければなりません。

## 香美町の医療体制に関する提言

### 医療体制全体についての

### 中長期の基本的な考え方

- ◆香住区、村岡区、小代区にそれぞれ1カ所の公的医療機関(病院、診療所含む)の設置を基本とする。
- ◆医療機関と行政が一体となって、保健・福祉、医療、介護が緊密に連携した「香美町地域医療体制」を作り、病気になるらない、健康を守る取り組みと、老後も安心して住み続けられる方策を構築する必要がある。

### 公立香住総合病院についての基本的な考え方

- ◆18年度から診療科の見直しも含めた積極的な経営改善策を実施し、赤字経営の解消に努める。
- ◆急速に進行する少子化と高齢化に対応するために必要な、子どもを大事にし、高齢者が安心して暮らせる診療体制(人工透析含む)と、初期救急や入院を要する二次救急に対応できる病院を目指す。
- ◆病床については、近年、1日当たりの入院患者が60、70人台で推移している現状から、病床の一部を高齢者などの長期療養病床に転換し効率的な利用を検討する。

### 診療所についての基本的な考え方

- ◆5つの診療所については、18年度から健全経営に向けた改善策に着手し、赤字解消が困難なものについては、3年後を目途に存廃を検討する。
- ◆小代診療所は存続させる。
- ◆村岡区の兎塚、川会、原診療所(医科)については、診療日を調整し、3診療所を一体的に医師と看護師が対応できる体制を検討する。
- ◆香住区の佐津診療所は公立香住総合病院と連携し、週2日ないし3日の診療とする。



若者の意見を町政へ……………

# 香美町若者まちづくり懇話会が提言書を提出

「香美町若者まちづくり懇話会（木谷高座長）」は、香美町内の30〜40代で構成する21人のメンバーで、中長期の町の将来についての意見交換を行っています。

昨年12月15日、現在検討している「産業」「生活基盤」「保健福祉医療」「教育文化」の4つの項目のうち、産業振興についての第1回目の提言書を藤原町長へ手渡されました。

今後、残り3つの項目を含め、より具体的な方策について検討いただきます。



藤原町長へ提言書を手渡す（左から）毛戸公彦副座長、木谷高座長、中村善則副座長

## 山と海との周遊型観光へ

「窓口を一つに」ポータルサイトの立ち上げを〜

観光業の振興を図るために

は、町内の情報が一つの窓口ですぐに分かるというシステムの構築が必要です。

観光客が町内に長時間滞在していただくため、携帯電話からもアクセスできるポータルサイトをインターネットホームページ（ウェブ）を立ち上げてはどうでしょうか。町内だけでなく、近隣市町の情報も分かるようにすることで、近隣市町に来られた際に香美町にも来ていただくこともできます。

## 「ターゲットを絞り込んで」

現在の観光客のニーズはあらゆる方面に向かっています。この全てのニーズに答えるのではなく、年齢層、性別、趣味などターゲットを絞り込んで

ではどうでしょうか。

観光資源の再検討と発掘、時代にマッチしたPRが必要と考えます。

また、町外の人だけでなく、町民も町内で買い物や遊びができるシステムづくりも必要だと考えます。

## 食える農業へ

「米のブランド化を」

農業振興を図るためには、サラリーマン並みかそれ以上の収入につながるような施策が必要です。

まずは“米のブランド化”。香美町の水質、空気質、土質などを調査し、これまで漠然とあいまいと言っていたものの裏づけをとり、重点的にPRしていくことで、ほかの米と差別化できるのではないかと考えます。

## 「但馬牛を地元で食す」

但馬牛を地元で食す環境を整備することで、さらに名前を広めることができると考えます。

このためには、但馬牛の頭数を増やすための環境・設備

の整備を行うことが必要ですが、1農家では設備を整えることは厳しい状況です。この辺りを行政で支援することが必要ではないかと考えます。

但馬牛を育てる環境として、設備・育てる人の整備・教育が必要となってきます。

これらは簡単にできるものではありませんが、これらをクリアすることで、香美町の就労場所の確保や、但馬牛を求める観光客などの交流人口の増加にもつながるのではないかと考えます。

## 水産業の振興につながる漁獲量の確保

「外国船の受け入れ、魚の量を増やす」

水産業の振興を図るためには、香住に入ってくる魚類の量を増やすことが必要です。年々漁獲量が減っており、取り扱う魚種類が少なければ加工業者の発展も見込めません。

このため、外国からの船も入港できるようにし、魚類の量を増やすというのはどうでしょうか。

## 「イカ・エビ・カレイもブランド化」

香住区ではカニが有名なブランドとして知名度が高いの

ですが、カニ以外にもイカ・エビ・カレイなど評価の高いものがあります。これらについても大いにPRする必要があるので考えます。

また、これらのブランド化を進めるためにも、大学の水産学科や県の水産施設を積極的に誘致し、水産のまちをPRすることが必要ではないでしょうか。

## 長期的な視点から「安心・安全の子育て環境づくりを」

町の活力のことを考えると若者の定住対策が重要な課題と考えます。

企業誘致や結婚対策も必要ですが、安心して子どもを育てることができる環境づくり（自然・街並み・教育など）が一番必要だと考えます。

これには、町民が町全体を自分の家のように思えるくらいの意識を持つことができれば、教育することが必要になってきます。

また、昨今増えている子どもがらみの事件を減らし、安全な町にするためにも、隣近所での声かけも大切でしょう。一部の人たちだけでなく町全体で人が住む“環境”について考え、実行していくことが必要ではないでしょうか。

## 固定資産の異動申告をお忘れなく！

固定資産税は、毎年1月1日現在の土地、家屋、償却資産に課税されます。所有状況について異動があった場合には、申告や届出が必要なお知らせがあります。

### 【住宅用地の異動】

住宅用地は、税負担軽減のためのいろいろな特例措置があります。

平成17年中に住宅用地として使用している土地の面積や用途などの異動があった場合、住宅用地から住宅用地以外の土地に変更した場合、住宅用地以外の土地から住宅用地に変更した場合には、1月31日までに申告をしてください。

### 【家屋の異動】

家屋が取り壊されていても滅失の登記がされていない場合や、未登記家屋で所有者の変更の届出がされていない場合、固定資産税がそのまま課税されることがあります。

1月31日までに申告をしてください。

### 【償却資産の申告】

会社、工場、商店など事業

## 平成18年度保育所園児募集

各保育所(園)では、5歳児まで(小学校に入るまで)のお子さんを保育しています。保育時間は通常、午前8時から午後4時までですが、早朝や夕方の延長保育も行なっています。就業や介護などご家庭でお子さんを保育できない場合はご利用ください。

### ◆募集人数(定員)

- ・柴山保育所 (☎0796・37・0352) 45人
- ・みなと保育園 (☎0796・36・1053) 90人
- ・青葉保育園 (☎0796・36・3135) 90人
- ・福岡保育所 (☎0796・96・0240) 40人
- ・宝樹保育園 (☎0796・98・1234) 45人
- ・どんぐり保育園 (☎0796・95・0044) 40人
- ・小北へき地保育所(☎0796・97・2010) 35人
- ・忠宮へき地保育所(☎0796・97・2039) 40人
- ・秋岡へき地保育所(☎0796・97・2117) 35人

※各へき地保育所は、小代区内に住所を有する3歳児以上5歳児までが対象です。

### ◆平成17年度保育料(参考)

各月初日の階層区分		徴収金基準額(月額:円)		
階層	定義	3歳未満児	3歳以上児	
第1	生活保護法による被保護世帯	0	0	
第2	第1・4・5・6・7階層を除き、前年度分の市町村民税額額の区分	市町村民税非課税世帯	7,200	4,800
		市町村民税課税世帯	16,500	14,000
第3	第1階層を除き、前年度分の所得税額の区分(住宅取得等特別控除は反映せず、定率減税後の額)	64,000円未満	22,500	20,200
64,000円以上160,000円未満		28,900	26,900	
160,000円以上408,000円未満		33,500	31,900	
408,000円以上		36,000	34,600	

◆申し込み方法 入所申込書など(役場、地域局にあります)に必要な事項を記入し、役場健康福祉部福祉課、各地域局健康福祉課に提出してください。

◆申し込み期限 1月27日(金)

※期限後も申し込みは可能ですが、入所決定が遅れることがあります。

### ◆問い合わせ先

- 役場健康福祉部福祉課 ☎0796・36・1111
- 村岡地域局健康福祉課 ☎0796・94・0321
- 小代地域局健康福祉課 ☎0796・97・3111

用を使用する機械、器具、備品など(所得申告の際に減価償却費として損金に算入されるもの。ただし、自動車税や軽自動車税が課税されているもの、一括償却資産は除く)は「償却資産」として固定資産税の課税対象となります。

償却資産を所有している人は、1月25日までに申告をしてください。

■問い合わせ先  
役場健康福祉部福祉課  
☎0796・36・1111

## 在宅寝たきり老人など訪問歯科指導



寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な人、通院できずあきらめている人に対して、口腔内の応急処置、保健指導などを歯科医師などが訪問して行います。

■対象者  
①65歳以上の在宅で寝たきりの人  
②40歳以上の重度の障害により在宅で寝たきりの人

■申し込み方法  
歯科診査などを希望する本人や家族が役場、各地域局へ申し込み書を提出してください。

※費用は初回のみ無料。継続して治療が必要な場合は保険診療になります。

■問い合わせ先  
役場健康福祉部健康課

### 町職員人事異動

- ☎0796・36・1111
- 村岡地域局健康福祉課
- ☎0796・94・0321
- 小代地域局健康福祉課
- ☎0796・97・3111

■採用(12月18日付)  
公立香住総合病院泌尿器科医長  
引田 克弥

■退職(12月17日付)  
小林 直人(公立香住総合病院泌尿器科医長)

# 速報

2005

# 国勢調査

## 香美町の人口は21,438人

## 5年間で1,833人減

平成17年10月1日、5年に一度の「国勢調査」が全国一斉に行われ、このほどその速報集計がまとまりました。

これによると、香美町の人口総数は21,438人、世帯数は6,624世帯で前回(平成12年実施)の調査時から1,833人、254世帯減少しています。

なお、今回の調査にあたり、16人の指導員と146人の調査員にご協力をいただきました。また、町民の皆さんにも調査にご協力いただきありがとうございました。

香美町の人口総数21、

438人の内訳は、男性

10,178人、女性11、

260人で、前回(平成12

年実施)の国勢調査と比べ

ると1,833人(7・

9%)減少しています。

県内の市町別にみた状

況では、人口減少数1、8

33人は県内の郡部では

最も多く、減少率7・

9%は家島町(14・0%)

に次ぐ数字となっております。

旧町別にみると、香住

区では前回に比べて1、

060人(7・6%)、1

32世帯(3・3%)減、

村岡区では516人(7・

8%)、95世帯(4・6%)

減、小代区では257人

(9・7%)、27世帯(3・

2%)減となっております。

町内の行政区別人口を

みると、町内120地区

のうち、人口が増加して

いる行政区は13地区、変

動がない行政区は3区、

減少している行政区が1

04区となっております。

1世帯あたりの人口は

3・24人で県平均の

2・61人を大きく上回

っています。

行政区名	平成17年10月1日現在			平成12年対比		
	世帯数	人口		世帯数	人口	
		男	女			
相田	14	42	17	25	-1	-14
神坂	18	85	39	46	0	-2
萩山	36	108	53	55	-3	-13
板仕野	38	112	54	58	-2	-15
大糠	27	82	40	42	2	-5
光陽	36	122	61	61	17	50
高井	35	102	52	50	3	8
寺河内	37	125	67	58	-3	-9
耀山	30	99	50	49	0	-11
市原	40	120	56	64	3	1
村岡地区	752	2,282	1,100	1,182	-41	-150
福岡	131	384	192	192	-1	-35
八井谷	25	91	46	45	-1	-12
大野	25	69	29	40	2	-10
口大谷	47	144	76	68	-3	-23
中大谷	34	124	63	61	0	-14
大笹	51	197	105	92	-12	-18
高坂	22	61	26	35	0	-13
池ヶ平	11	33	18	15	0	-2
和池	40	126	53	73	-6	-23
森脇	13	43	19	24	0	-7
黒田	47	152	74	78	-1	-14
宿	57	212	96	116	0	0
日影	76	242	112	130	3	-27
作山	12	34	16	18	0	-5
兎塚地区	591	1,912	925	987	-19	-203
入江	37	112	46	66	-6	-7
和佐父	15	43	19	24	-3	-10
和田	37	108	48	60	-2	-19
長板	52	177	83	94	0	-15
熊波	40	112	55	57	-4	-11
相岡	82	233	104	129	-3	-19
丸味	21	56	25	31	-1	-5

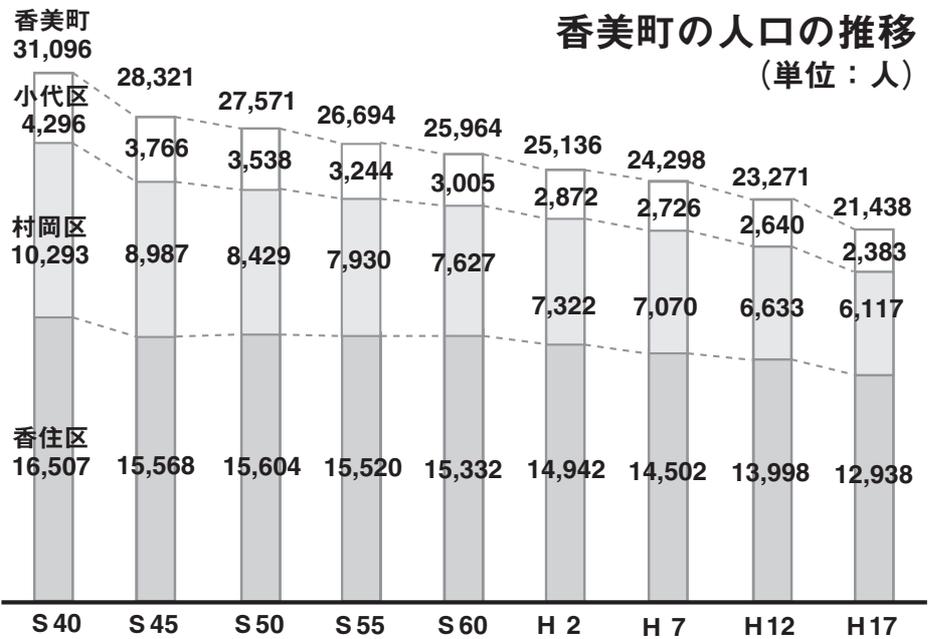
行政区名	平成17年10月1日現在			平成12年対比		
	世帯数	人口		世帯数	人口	
		男	女			
川会	61	187	77	110	0	3
高津	64	197	95	102	-2	-21
長須	25	73	31	42	1	-2
味取	68	235	115	120	1	-16
原	23	73	35	38	-6	-11
長瀬	30	116	55	61	-2	-7
山田	49	144	69	75	-10	-29
小城	10	22	9	13	3	9
境	10	35	18	17	-1	-3
射添地区	624	1,923	884	1,039	-35	-163
村岡区	1,967	6,117	2,909	3,208	-95	-516
神場	23	62	31	31	-1	-3
広井	24	71	28	43	0	-5
水間	38	131	62	69	1	-1
野間谷	15	44	21	23	-3	-17
実山	27	63	34	29	-1	-12
平野	21	68	30	38	0	-10
茅野	50	131	62	69	-7	-39
新屋	56	159	76	83	-4	-13
秋岡	84	258	117	141	-6	-35
東垣	15	37	18	19	-4	-11
佐坊	30	73	33	40	-2	-26
鍛冶屋	18	59	25	34	-3	-15
貫田	45	147	67	80	1	-9
忠宮	32	96	46	50	-1	-7
久須部	10	23	11	12	-2	-6
大谷	142	407	191	216	4	-20
城山	51	147	73	74	-1	-14
神水	63	262	95	167	4	8
石寺	44	108	45	63	-1	-18
猪之谷	8	21	11	10	-2	-2
熱田	9	16	9	7	1	-2
小代区	805	2,383	1,085	1,298	-27	-257
合計	6,624	21,438	10,178	11,260	-254	-1,833

# 行政トピックス



調査にご協力  
ありがとうございました

## 香美町の人口の推移 (単位：人)



(注) 今回公表した人口・世帯数は、兵庫県が独自に集計したものです。今後発表される総務省統計局の公表結果、官報で公示される人口とは若干異なる場合があります。

行政区名	平成17年10月1日現在				平成12年対比		行政区名	平成17年10月1日現在				平成12年対比	
	世帯数	人口		世帯数	人口	世帯数		人口		世帯数	人口		
男	女	男	女			男	女						
境	147	439	213	226	-3	-56	上計	256	921	433	488	-12	-84
一日市	309	1,073	525	548	-12	-109	沖浦	134	463	225	238	2	-29
若松	285	898	451	447	-6	-104	柴山地区	443	1,556	744	812	-8	-119
香住	576	1,803	850	953	-36	-148	守柄	42	160	80	80	-16	-21
西香住	129	385	203	182	-12	-51	加鹿野	40	130	58	72	1	3
七日市	113	335	155	180	-8	-37	三谷	35	116	60	56	-1	-16
駅前	270	871	423	448	-7	-38	大谷	39	149	75	74	-1	-4
森	210	727	334	393	-8	-43	大野	32	106	51	55	3	3
間室	39	126	60	66	-1	-1	小原	50	160	75	85	1	-15
油良	26	84	38	46	-1	-16	中野	18	62	26	36	0	-7
矢田	27	117	51	66	-1	-1	藤	6	27	12	15	0	-2
下浜	180	649	307	342	-2	-51	八原	26	93	46	47	0	-10
香住地区	2,311	7,507	3,610	3,897	-97	-655	長井地区	288	1,003	483	520	-13	-69
九斗	14	44	18	26	0	-8	市午	45	147	77	70	5	2
米地	12	37	16	21	0	-4	梶原	18	67	33	34	1	-2
丹生地	31	118	55	63	-1	-7	浜	65	219	101	118	-3	-26
西下岡	19	68	27	41	-3	-4	西	52	177	79	98	-2	-22
下岡	47	185	80	105	0	-20	御崎	18	71	36	35	-1	-2
上岡	30	120	54	66	-4	-5	鎧	59	213	101	112	-1	-24
隼人	40	142	66	76	-3	-30	余部地区	257	894	427	467	-1	-74
畑	34	134	66	68	-1	-21	香住区	3,852	12,938	6,184	6,754	-132	-1,060
大梶	8	39	18	21	0	-2	東上	54	177	87	90	-5	-22
三川	8	18	9	9	-1	0	東中	26	79	37	42	-4	-17
土生	12	36	16	20	1	2	本町	34	97	49	48	-2	-5
本見塚	2	2	2	0	-1	-2	野々上	37	107	54	53	-4	-3
奥佐津地区	257	943	427	516	-13	-101	殿町	38	92	42	50	-2	-17
相谷	30	130	64	66	-4	0	水上	20	56	27	29	-25	-33
奥安木	24	73	33	40	0	-7	川上	37	107	53	54	-2	-13
浜安木	26	86	40	46	-5	-9	中西	28	101	43	58	-1	10
訓谷	110	389	177	212	3	-29	新町	54	157	73	84	-8	-28
無南垣	106	357	179	178	6	3	西本町	81	199	97	102	-3	-16
佐津地区	296	1,035	493	542	0	-42	用野	17	55	23	32	0	-1
浦上	53	172	86	86	2	-6	鹿田	15	58	26	32	-1	5

# Town News

## まちの話題



着ぐるみも子どもたちに人気でした

### 美しい光の下で

## 神戸ルミナリエで観光PR

阪神・淡路大震災犠牲者の鎮魂から始まった「神戸ルミナリエ」。

今年は12月9日から22日までの会期で行われましたが、最終日となる12月22日、会場の神戸市中央区で香美町の観光PRを町と香住町観光協会が合同で行いました。

当日は約22万7,000人ものも来場者があり大変な賑わいを見せました。それにあわせて行ったPRも大盛況で瞬く間にチラシやグッズがなくなりま

### 新しい特産品として期待

## 小代産キャビアが完売

小代区神水でチヨウザメ養殖に取り組んでいる小代内水面組合(増田時雄代表)が、チヨウザメの卵であるキャビアを製品化し、初めて販売を行いました。同組合は現在約400匹のチヨウザメを飼育していますが、その一部がキャビアを採取することができ、体長1メートルを超えたことから、今年初めてキャビアを採取、販売することになりました。

11月に限定50個(1個30グラム)を予約販売したところ、わずか3日で完売し、12月20日に希望者に発送しました。

予想以上の反響に、関係者は「来年以降も継続して販売していきたい」と抱負を語っていました。



今回希望者に販売された製品

### 12月に大寒波襲来

## 町内で記録的な大雪



12月に但馬地方を襲った寒波は、町内に12月としては近年にない記録的な大雪をもたらしました。

多いところでは積雪量が2メートルを超える地区もあり、町内各地で屋根の雪下ろしや雪かき作業に追われました。

今回の大雪ではベニスワイガニかご漁船や底引き網漁船などが出漁を見合わせたり、民宿・旅館でキャンセルが相次ぐなどの影響がありました。

町内の各学校でも臨時休校などが相次ぎ、香住小学校では予定より4日遅れで終業式を行いました。

一方で、町内の4スキー場は十分な積雪量が確保できたため、八手北高原スキー場では、予定より1週間早くオープンするなど各スキー場とも好調なスタートを切りました。

### 民家もすっぽりと雪に覆われました(香住区余部)

### 手作りケーキでクリスマス

## 村岡高校の生徒が老人施設へ

### プレゼント

県立村岡高等学校のボランティアサークル(井口真由美部長、9人が手作りのクリスマスケーキを作成し、町内の老人施設3カ所にプレゼントしました。

同校が行う地域貢献事業の一環で12月20、21日の両日、サークルの生徒たちが作った50個の

## 思いやりの心を大切に 香住区、村岡区で人権講演会

12月11日に村岡老人福祉センターで、翌11日に香住区中央公民館で人権講演会が行われました。村岡会場では元小学校教諭の仲島正教さんが「あーよかったな、あなたがいて〜つながりと感動〜」をテーマに講演。「どんなに忙しくても子どもと正面から向き合うことが子どもの成長を促し、家庭を円満にする」と訴えました。

香住会場では園田学園女子大学教授の野口克海さんが「自分と人を大切にすると子どもはよくおためにく〜今、家庭・学校地域が、子どもたちに伝えること〜」をテーマに講演。「子どもの可能性をことん信じる親や教師であることが大切。いっばいの愛情のシャワーを真剣に浴びたとき、子どもは変わります」と話していました。



『長板村史』を手にする古川哲男さん

## 地区の歴史がこの1冊に 『長板村史』を発刊

村岡区の長板地区(古川稔区長、51戸)がこの度、地区の歴史をまとめた『長板村史』を発刊しました。この冊子は但馬県民局の「地域づくり活動応援事業」の助成を受けて発行されました。

同地区の古川哲男さんがこれまでから地元の情報や文獻を収集していましたが、昨年春にまちおこしグループの長板区地域活性化推進協議会を立ち上げたことから、協議会の事業の一つとして編さんを開始、約半年をかけて完成させました。

村史の発刊について古川区長は、「今まで一部の人たちしか知らなかった地域の歴史を、区民が共有できるようになったことが何より喜ばしいです」と話していました。



心温まるお話が好評だった仲島さん(左)と野口さん



これからもお元気で(つつじの里[村岡区])

## 生徒たちの熱演に歓声 特別養護老人ホームで出前公演

香住第一中学校の1年生15人が、香住区森にある特別養護老人ホーム「しいの木荘」で演劇の出前公演を実施しました。

劇の公演を通して地域の人たちと交流を深めること、自分たちができるボランティア活動の実践を目的に、同校が福祉体験活動の一環として毎年行っているもので、今年で7回目。



お年寄りの前で熱心に演じる生徒たち

生徒たちが演じたのは、昔話をもとにした「おじな沢のはなし」。

主役の一人、おじな役を務めた浜本直杜くんは、「文化祭の時より緊張しましたが、喜んでもらえてよかったです」と話していました。

ケーキは全て手作り。一人ひとりが工夫を凝らして全て違うデコレーションに仕上げました。生徒たちが老人施設を訪問し、ケーキを手渡し、お年寄りの人たちとの交流の場も設けられ、終始和やかな時間を過ごしました。

◆ 主な 連絡先 ◆	香美町役場本庁舎	36・1111	公立香住総合病院	36・1166
	〃 南庁舎	39・2053	公立村岡病院	94・0111
	〃 村岡地域局	94・0321	香住地域福祉センター	36・4345
	〃 小代地域局	97・3111	香住老人福祉センター	36・5008
	香美町教育委員会	94・0101	村岡老人福祉センター	98・1000
	〃 香住分室	36・3764	小代高齢者生活支援センター	97・2202
	〃 小代分室	97・3966	(全ての施設の市外局番：0796)	

薦があった人を対象に、県教育委員会が審査を行います

▶委嘱期間

4月1日～平成19年3月31日の間で、県教育委員会が定める期間

▶問い合わせ先

香美町教育委員会学校教育課  
☎0796・94・0101  
兵庫県但馬教育事務所  
☎0796・26・3774

◆兵庫県高齢者放送大学

平成18年度学生◆

- ▶募集人数 本科生 500人(先着順)
  - ▶応募資格 県内在住の60歳以上の人
  - ▶応募締切 4月14日(金)
  - ▶学習期間 1年間
  - ▶経費 6,000円(テキスト代含む)
  - ▶放送  
ラジオ関西558KHz(但馬1395KHz)  
毎週土曜日午前6時30分～7時
- ※ほかに中央・地方スクーリングなど親交を深める機会があります。
- ▶問い合わせ先  
兵庫県高齢者放送大学  
(兵庫県高齢者生きがい創造協会内)  
☎0794・24・3342

開 催

◆確定申告説明会◆

所得税の確定申告書の書き方についての説明会を開催します。

▶と き 1月26日(木)

- ・午後2時～3時  
前年から改正された事項などを中心に説明します。
- ・午後3時～4時  
株式の譲渡所得がある人を対象に説明します。

▶ところ

豊岡市民プラザ(豊岡市アイティ7階)

▶開催にあたって

- ・税務署から確定申告書関係書類を送付された人は、その書類をご持参ください
- ・当日は個別の申告相談は行いません(確定申告書の提出はできません)

▶問い合わせ先

豊岡税務署個人課税部門  
☎0796・22・2144

◆税理士による譲渡所得申告説明会◆

土地や建物を売却(収用、交換などを含む)した場合の譲渡所得の計算方法や確定申告書の作成方法などについて、税の専門家である税理士が説明を行います。

▶とき・ところ

- ・1月27日(金) 午後1時～  
会場：浜坂多目的集会施設
  - ・1月31日(火) 午後1時～  
会場：日高農村環境改善センター
- ※両会場とも同一内容です。いずれかにお越しください。

▶問い合わせ先

豊岡税務署資産課税担当  
☎0796・22・2150

◆司法書士によるサラ金などの多重債務、ヤミ金被害無料相談◆

▶と き

1月21日(土)、2月18日(土)  
ともに午後1時～4時(予約制)

▶ところ 豊岡市民会館

▶問い合わせ(予約)先  
兵庫県司法書士会但馬支部  
☎079・665・8025

そのほか

◆福祉有償運送(移送サービス)について◆

NPOなどの非営利法人が高齢者の通院などを手助けするため、自家用車で料金を徴収し行う事例が見受けられます。

このような運行には道路運送法による許可が必要であり、この許可を受けるためには「但馬ブロック福祉有償運送運営協議会」への事前協議が必要です。

事前協議について詳しい内容をお知りになりたい場合は役場健康福祉部福祉課(☎0796・36・1111)までお問い合わせください。

求人情報 ハローワーク香住(職業安定所)

☎0796・36・0137

(平成17年11月22日～12月22日・順不同)

事業所名	職 種	年齢	人数
(有)三七十	接客係	不問	1
〃	フロント事務	不問	1
マルヨ食品(株)	営業	50以下	2
(株)ヤマヨシ	水産加工員	不問	1
平和焼肉	飲食、サービス係	不問	1
(株)隆栄水産	調理師	不問	2
〃	ウェイトレス・ウェイト	不問	2
(有)駒徳商店	水産加工・荷造り	50以下	1
香住自動車(株)	営業(見習可)	不問	1
(有)山本モータース	自動車・保険営業	不問	1
カスミ化成(株)	一般事務	18～35	1
(株)カイ自動車センター	事務一般	20～35	1
(有)秀和工建	1・2級土木施工管理技士	20～40	1
寺崎塗装店	建築塗装職人(見習可)	55以下	3
(有)西本設備	配管工	不問	1
〃	電気工事	不問	1
中村建築	大工	不問	1
美岡工業(株)	検査員	不問	1
〃	機械オペレータ	不問	3
〃	組立オペレータ	不問	1
(株)入江産業	機械加工	不問	3
村瀬医院	介護員	不問	1
村岡日石(株)	スタンドスタッフ	40以下	2
(有)ハバタック	事務員	35以下	1
(株)田村建設	土木施工管理技士	不問	1
〃	普通作業員	不問	2
エイワ電器(株)	購買事務	35以下	1
社会福祉法人みかたこぶしの里	臨時介護員	不問	3
〃	嘱託介護員	不問	6
〃	介護員	不問	2
〃	看護員	不問	4
(株)ニッコクトラスト	栄養士業務	不問	1
関西技術工業(株)	電気工事(見習可)	不問	1
▼パート			
(有)三七十	接客係	不問	3
〃	フロント事務	不問	1
(有)さだ助	接客	45以下	2
(有)カネニ寺川商店	水産加工員	不問	2
(株)ヤマヨシ	水産加工員	不問	1
(有)磯金商店	カニの身抜き	不問	2
(株)隆栄水産	ウェイトレス・ウェイト	不問	2
(株)カネリョウ商店	一般事務	不問	1
(株)但馬銀行	一般銀行事務	20～45	1
(株)伸和	クリーニング取次店集配	25～40	1
〃	クリーニング仕上げ	25～45	2
(有)やよい	旅館業務・スキーレンタル	不問	4

# けいじばん

## 募 集

### ◆町臨時職員◆

#### ▶募集職種と採用人員

#### 【香住区】

- ・役場用務員(半日勤務)  
50才までの人……1人
- ・学校事務補助員(半日勤務)  
45才までの人……若干名
- ・学校用務員(1日勤務)  
50才までの人……若干名
- ・会館等事務補助員(1日勤務)  
45才までの人……若干名
- ・海の文化館受付・案内員  
40才までの人……2人
- ・会館等清掃員(午前中勤務)  
50才までの人……若干名
- ・公園等管理作業員……2人
- ・保健師 50才までの人……1人
- ・栄養士 40才までの人……1人
- ・保育士 50才までの人……若干名
- ・保育所調理員(半日)……1人
- ・病院事務補助(1日勤務)  
45才までの人……若干名
- ・病院事務補助(半日勤務)  
45才までの人……若干名
- ・学校給食センター調理兼運搬業務員  
50才までの人……2人
- ・学校給食センター調理員  
50才までの人……若干名
- ・清掃収集業務員  
60才までの人……2人
- ・指導相談員  
50才までの人……1人
- ・児童館児童厚生員  
50才までの人……1人
- ・幼稚園教諭……若干名
- ・介助員兼用務員  
柴山幼稚園(1日勤務)……1人
- ・介助員  
香住小学校(6時間勤務)……4人
- ・自動車運転手(マイクロバス、  
霊柩車、スクールバス)……若干名

#### 【村岡区】

- ・町民センター事務補助員(1日勤務)  
45才までの人……1人
- ・地域局・学校等用務員(1日勤務)  
……4人

- ・歯科助手(1日勤務)  
50才までの人……2人
- ・会館管理人(1日勤務)  
50才までの人……2人
- ・介助員  
村岡小学校(半日勤務)……1人  
射添中学校(6時間勤務)……1人
- ・学校給食センター調理兼運搬業務員  
50才までの人……1人
- ・学校給食センター調理員……6人
- ・指導相談員 50才までの人……2人

#### 【小代区】

- ・教育委員会小代分室事務補助員  
(1日勤務)45才までの人……1人
- ・オフトーク兼アナウンサー  
(半日勤務)45才までの人……1人
- ・診療所事務補助員(半日勤務)  
45才までの人……1人
- ・地域局用務員(1日勤務)……1人
- ・保育士 50才までの人……若干名
- ・清掃収集業務員  
60才までの人……2人
- ・学校用務員……1人
- ・学校給食センター調理員  
50才までの人……2人
- ▶賃 金
- ・1日勤務 6,200円(免許資格者・  
特定業務により加算あり)
- ・半日勤務など 勤務時間に応じて  
支給
- ・通勤手当支給
- ・社会保険、雇用保険に加入  
(ただし、1日勤務の人)

#### ▶採用資格

- ①香美町内に住所を有する健康な人
- ②事務補助員は高等学校卒業程度の  
学力を有する人
- ③保健師、保育士、栄養士、幼稚園  
教諭は資格を有する人、歯科助手  
は歯科助手の経験を有する人
- ④学校給食センター調理兼運搬業務  
員、清掃収集業務員は普通自動車  
免許以上を有する人
- ⑤自動車運転手は大型一種か大型二  
種免許を有する人

#### ▶勤務内容・条件

- ・介助員は、障害を持つ児童などの  
自立活動の支援、介助の業務

- ・指導相談員は、子育てにかかる親  
への相談などの支援を行う業務
- ・自動車運転手は数人による交替勤務

#### ▶採用・応募方法

- ・市販の履歴書(写真貼付)、資格を  
証明する書類の写し(該当職種)を  
住所を有する所在地の区の地域局  
が役場総務課へ提出してください
- ・採用は、募集のある香住、村岡、  
小代区の職種に対し、基本的には  
それぞれに住所を有する応募者の  
中から採用します
- ・応募者については、2月下旬に採  
用面接を実施します
- ▶応募締切 1月31日(火)
- ▶問い合わせ(提出)先  
役場総務部総務課  
☎0796・36・1111

### ◆公立幼稚園等新規採用教員研修 に係る非常勤嘱託員◆

#### ▶勤務内容

県内の公立幼稚園などで、新規採  
用教員研修対象教員の指導・助言、  
保育の補充など

#### ▶募集人数 25人程度

#### ▶勤務条件

- ・年間10日、月1日(8時間)程度
- ・1時間あたり2,800円
- ・交通費は支給限度額の範囲内で実  
費支給

#### ▶応募資格

- ・地方公務員法第16条、学校教育  
法第9条の欠格事項に該当しない人
- ・教育職員免許法で定める幼稚園教  
諭普通免許状の所有者
- ・任用しようとする日の年齢が65  
歳未満の人

#### ▶応募方法

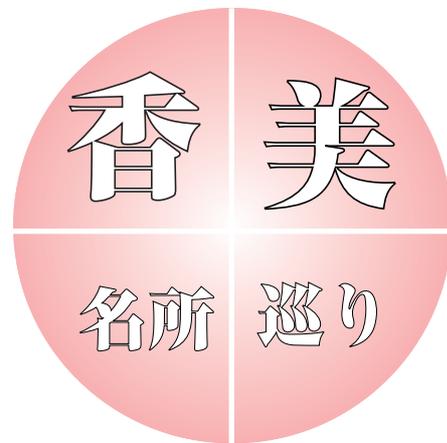
幼稚園等新規採用教員研修に係る  
非常勤嘱託員登録届(香美町教育委  
員会にあります)に必要事項を記入  
して、町教育委員会に提出してく  
ださい

#### ▶応募受付

2月1日(水)～3月10日(金)

#### ▶委嘱について

応募者の中から町教育委員会の推



# あまるべさきとうだい みさきとうだい 余部埼灯台 (御崎灯台)



【写真上】航海の安全を見守る余部埼灯台  
【写真下】御崎地区で1月28日に行われる「百手の儀式」

香住区の西端、御崎地区にある余部埼灯台(通称:御崎灯台)は、高さ約14メートルと決して大きな灯台ではありませんが、海面から光源まで高さが284メートルもあり、日本一高い光源の灯台として知られています。

灯台から発せられる92万カンデラの光が届く光達距離は、約23海里(約43キロメートル)で、室戸岬灯台(高知県)に次ぐ全国第2位となっています。(※注)西は鳥取県東郷町、東は京都府経ヶ岬まで光が届き、航海の安全を毎日見守っています。

現在は道路や園地が整備されていますが、昔は道路がなく、灯台建設時には御崎漁港から傾斜が急な小道を通して物資を搬入しました。また、昭和36年までは、灯台に航路標識事務所の職員が常駐し、24時間灯台の保守、点検にあたっていました。

灯台のある御崎地区は、壇ノ浦の戦いに敗れた平家の落人伝説の残る集落です。毎年1月28日に平内(へい内)の神社で101本の矢を射る「百手(ももて)の儀式」は、平家再興を祈願する儀式が始まりといわれています。

※注)余部埼灯台の光達距離は、今まで39.5海里(約73キロメートル)で日本一でしたが、平成15年に算出基準が変更され現在の数値になりました。



## 編集後記「日々雑感」

厚生労働省の発表によると、2005(平成17)年、日本は死亡者数が出生者数を上回ったそうです。いわゆる「自然減」であり、調査が始まった1899(明治23)年から数えて初めての減少だそうです。いよいよ日本に人口減の時代がやってきました。

このことから各メディアでも日本の将来のことが不安視されています。

しかし、日本よりも人口が少なくても元気な国はたくさんあります。また、江戸時代は人口が3000万人くらいだったそうですが、私たちは元禄時代のような勢いのある時代、活気のある時代のことを歴史の教科書で学んでいます。

今回の国勢調査では、残念ながら香美町の人口は減少していました。

でもそれが活力をなくすことには直結しないと思います。

大切なことはどれだけの人がいるかではなく、一人ひとりが何をできるか、どこまでできるかだと思います。

2006(平成18)年のスタートです。皆さん、がんばっていきましょう。(タウ)

## まちのうごき (平成17年12月1日現在)

合計	22,615人 (-6)
男	10,782人 (-9)
女	11,833人 (+3)
世帯数	6,977世帯 (+15)

カッコ内は前月比



この広報誌は、自然環境を考えてソイ(大豆油)インキ、再生紙100%を使用しています。